

令和3年度 大阪府立福井高等学校 第2回学校運営協議会

日時：令和3年11月17日 14:00～16:00（5限目の授業見学を含む）

場所：本校1階校長室及び授業見学教室

構成員：

<協議会委員>

勝部 幸	元福井高校校長
米澤 恵子	元茨木市立福井小学校長
塩田 寛	福井地区自治振興会
福田 正幸	茨木福祉健康部 支援員
福山 秀子	本校PTA会長
増野 浩典	茨木市立彩都西中学校長（「福井高校を育てる会」会長）：欠席

<事務局>

内田 正俊	校長
原田 信尚	教頭
山下 優	事務部長
太田 真希子	首席
川上 郁恵	教務部長
中川 誠寛	生徒指導部長
曾根 康介	進路指導部長
内田 牧	活動支援部長
野村 達記	地域連携主担

配布資料：

- ・授業向上プロジェクトについて（資料1）
- ・令和4年度教育課程実施計画（資料2）
- ・39期生系列再編について（資料3）
- ・広報活動中間報告（資料4）
- ・多文化共生について（資料5）
- ・活動支援部の取組み（資料6）
- ・学校パンフレット
- ・令和3年11月教育委員会会議資料

内容：

0. 授業見学

(1年コスモス数学Ⅰ、1年化学基礎、2年コスモスDCC、2年福祉実習、3年現代文)

1. 校長挨拶

2. 会長挨拶

3. 事務局より活動報告

・授業向上プロジェクトについて（資料1）

→「観点別評価」や「一人一台端末」など来年度からの変化が大きく、職員研修を実施した。
授業見学については、見学率をあげるため、ペア見学の導入や見学期間を増やすなどした。

・令和4年度教育課程実施計画（資料2）、39期生系列再編について（資料3）

→現行の「国際コミュニケーション系列」と「芸術ライフ系列」を再編統合することで、来年度入学の39期生が大きく変化する。4クラス規模の中、生徒の希望が分散すると閉講科目が増えてしまうため、生徒の希望を叶えるための手立てである。

・広報活動中間報告（資料4）

→新しい試みとして、中学校へのオープンスクール案内の持ち込みを生徒の母校訪問という形で行った。そのほか、外部開催の説明会はほとんど中止となったが、出前授業のオファーはいただくことができている。

・多文化共生について（資料5）

→今年度は交流会のオファーが多く、需要があると感じている。生徒たちも積極的に取り組んでおり、この機会を大切にしたい。

・活動支援部の取組み（資料6）

→今年度は縮小版ではあるが、体育祭および文化祭を行うことができた。昨年度から取り入れている外部支援では、ゆったりカフェに加え、勉強会も始めることができ、大学からのインターン生も入ることで、多方面からのアプローチを試みている。部活動はコロナ禍で活動がなかなか難しい中を頑張ってくれており、1年生がしっかり入部してくれたことで、加入率は一定保っている。

・令和3年11月教育委員会会議資料（校長より）

→各基本方針について、要点を確認した。

4. 質疑応答・意見

【授業見学について】

・数学Ⅰ：PCをノートのように使っていて、今の生徒たちにはあっていると感じた。

・化学：生徒の興味をひくよう、実験から授業に入るのはいい。

意見を聞くにあたって、賛否をとってもいいのではないか。自分の意見をはっきりさせること、意見を戦わせることもできる。

・DCC：先生からの一方的な説明ではなく、生徒の意見を取り入れて授業をしていたのはいい。

・全体：主体的に参加してみようと生徒が思える楽しい授業になってきていると感じる。

授業は先生方の技術で成り立っている。生徒は総合学科で幸せだが、先生方は教材研究で大変だろう。

【就職について】

(委員) 就職内定状況はどうか。

(学校) 受験した生徒はほぼ決定した。去年に比べ、介護職が多い。大学受験の結果により、今後、就職へ変更する生徒もいる。

(委員) 離職した卒業生へのアプローチはあるのか。

(学校) 卒業生から知らせがあれば対応できるが、企業から事後報告になることも多い。その場合、連絡が取れないこともあり、フォローは難しい。

【薬物について】

(委員) 大麻について新聞報道もあったが、注意喚起はどのようにしているか。

(学校) 教室や廊下に掲示物をはるとともに、2学期終業式では警察の方にお越しいただき、薬物乱用防止教室を行う。大麻は現行犯が基本であるため、今後の新たな課題になると思われる。

(委員) まずは喫煙行為(タバコ)が入り口になる。今はタバコを吸う生徒自体が減っているのので、逆に手を出している場合は深みにはまっていると考えたほうがよいだろう。

【新型コロナウイルス感染症について】

(委員) ワクチンを打ったかどうかを聞くという事案が他校であったのを聞き、危惧している。福井高校では接種把握はしているのか。

(学校) 学校を休む場合は出席停止の扱いをとるため、生徒が自己申告する。

(委員) 中学校時までとの違いもあるが、コロナ禍で保護者同士のつながりがないことを実感する。ただ体育祭、文化祭は見させてもらうことができ嬉しかった。

(学校) 縮小版ではあるが行事を行うことができ、生徒の生き生きした様子が見られ、学校としてもホッとしている。

【全体を通して】

(委員) ここ数年で学校がより落ち着いてきていることを実感していたが、本日の授業見学で生徒たちの様子を見て、さらに安心した。

(委員) コロナ禍でできなくなったことが様々あるだろうが、それによりしなくていい仕事に気づいたはず。今までのやってきたことを辞めるのは不安だろうが、減らすのは今がチャンス。辞める、省くということを考えてみてほしい。